

東山の下小「『これだけ』メソッド」覚書

※全校体制であらゆる授業で共通に指導する。 ※出来たらほめる。 ※子ども一人一人の点検と評価を行う。 ※よい例を紹介する。

授業構成モデルにおける指導過程	指導すること、たったこれだけ			
	板書これだけ	ノートこれだけ	発言これだけ	ハンドサインこれだけ
(授業前)		<input type="checkbox"/> 準備 ・尖った鉛筆・赤ペン（赤鉛筆） ・下敷き・ミニ定規(15センチくらい)		
課 題	<input type="checkbox"/> 課題を板書し、赤枠で囲む。	<input type="checkbox"/> 課題をノートに書き、赤枠で囲ませる。		
考 え 1		<input type="checkbox"/> 自分の「考え」とその「わけ（根拠）」を書かせる。		
発 表			<input type="checkbox"/> 「僕は<考え>だと思います。わけは<わけ（根拠）>だからです。」	
話し合い			<input type="checkbox"/> 「〇〇さんに賛成（反対・付け足し・質問）で～」	<input type="checkbox"/> ハンドサインの具体 ・挙手……………意見・賛成 ・グー……………反対 ・チョキ……………付け足し ・人差し指……………質問
考 え 2		<input type="checkbox"/> 話し合いが終わった後、再度自分の考えを書かせる<何が分かったか>。 例：初めは、××と考えていたんだけど、△△に変わった。わけは…。		
なるほどノート		<input type="checkbox"/> 誰のどんな考えに「なるほど」と思ったのかを書かせる。 例：初めは気づかなかったんだけど、〇〇さんの△△という考えを聞いてなるほどと思った。 など		